

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

消費者課題

目標と実績	55
品質保証	55

※化学品の安全に関しては「環境」に掲載しています。(→ P33)

目標と実績

2020年のありたい姿 =「社会の期待に応えている」状態を目指す	現在実施している具体的活動 (■：完了、△：継続実施)	今後実施すべき検討事項
【世界一の品質とコスト競争力の両立】 【消費者の安全衛生の保護】	△ISO9001に基づく品質マネジメントシステム △品質保証リスク(PL訴訟、供給責任、リコール、風評による信用力失墜)マネジメント △顧客満足度(CS)測定を行い現状値を把握するとともに目標を掲げ改善を進める	1. ゼオン製品が選ばれる状態を維持拡大するために ・不良品を外部に流出させない体制を構築し、顧客に信頼される企業品質体質を構築し、CSの向上を図る ・化学物質規制への取り組みを推進する ・海外関連会社や外注委託先へゼオンの品質管理体制を展開する

品質保証

品質保証に関する方針

ゼオンの基本理念およびCSR基本方針にしたがって、品質保証基本方針を次のように定めています。

品質保証基本方針

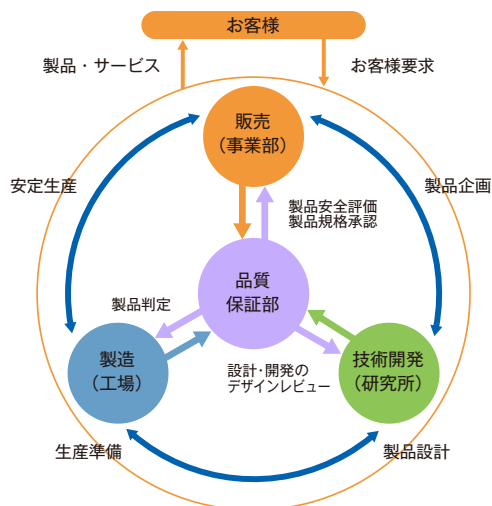
1. 当社は、信頼性・安全性に優れた品質を有する製品、商品およびサービスを市場に提供し、社会に貢献する。
2. ユーザーの要求を十分に把握し、かつ先取りし、ユーザーが満足して使える製品、商品およびサービスを供給する。
3. 品質保証の各ステップにおいて、信頼性・安全性に優れた品質を有する製品、商品およびサービスの評価を確実に行うことができる社内体制を確立する。
4. 製品、商品およびサービスの、信頼性・安全性に関する目標品質を作り込むことができる技術を確立する。

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

品質保証体制

常にお客様の視点に立った製品をつくり、その品質を確実に保証するため、工場・事業部・研究所（総合開発センター）との連携を密にし、「製・販・技」一体となって、適正な全社的な品質保証活動を進めています。

品質保証体制のイメージ



中長期取り組み方針と 2017 年度からの取り組み

中長期計画 SZ-20 における品質保証の 2020 年のありたい姿を「世界一の品質とコストの両立」とし、2014 年度から 2016 年度の 3 カ年では、「何が変わっても（ゼオンが変わり、世の中が変わっても）品質保証できる仕組みづくりを目指す」という品質保証方針を定め、これを実現すべく品質保証活動を推進しました。

2017 年度からの 4 カ年では、これをゼオングループ全体に展開するため、「何が変わっても（ゼオンが変わり、世の中が変わっても）ゼオングループで品質保証できる仕組みづくりを目指す」という品質保証方針に改訂し、ゼオングループ全体での品質保証活動を推進しています。

品質保証を支える仕組み

お客様に高品質な製品を安定的に供給するため、品質マネジメントシステムの国際規格である ISO9001:2015 に適合した品質保証に関する社規に従って、さまざまな品質保証の仕組みを構築しています。

1) 日本ゼオンの品質に関する国際規格の認証取得状況

当社では、2010 年に ISO9001 の認証を全社統合し、維持してきました。2017 年の定期審査では 2015 年版への移行審査を兼ねて受審し、2015 年版への移行を完了しました。

2) グループ企業の品質に関する国際規格の認証取得状況

対象組織		ISO 9001 ^{*1}	ISO 13485 ^{*2}
国内	ゼオン化成(株)	○ ^{*3}	
	ゼオンポリミクス(株)	○	
	ゼオンメディカル(株)		○
	ゼオンノース(株)	○	
	東京材料(株)	○	
	ゼオンケミカルズ米沢(株)	○	
	(株)オプテス	○	
	(株)トウベ	○	
海外	Zeon Chemicals L.P.	○	
	Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.	○	
	Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.	○	
	Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd.	○	

※1 ISO9001 は、製品やサービスの品質保証を通じて、顧客満足向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現する国際規格です。

※2 ISO13485 は、安全で有用な医療機器の継続的な製造・供給を目的とした、医療機器分野における品質マネジメントシステムの世界標準規格で、ISO9001 の一部の要求事項を省略し、医療機器に関する固有の要求事項を付加した規格です。

※3 物流資材部門は、STEC[®] に限定した範囲で認証を取得しています。

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

製品安全を実現する仕組み

1) 製品安全評価の実施

製品開発の初期から、製品の企画、設計、製造、販売、使用、廃棄段階までのライフサイクル全体を想定した製品安全評価 (PSR)*を独自のチェックリストをもとに実施し、あらゆる面から製品の安全性を確保するよう努めています。

※ PSR (Product Safety Review) : 製品安全評価

2) 化学物質規制遵守

昨今は、欧米はもとより東南アジアを含む海外での化学物質に対する法規制の制改正が進み、日本国内含め化学物質管理に関する環境が大きく変化しています。それに伴い、遵守すべきことも著しく増えています。このような規制に対応するため、当社では原材料および製品について微量な成分までデータベース化し、常に最新の法規制情報や安全性情報等のチェックができる化学物質管理システムを構築しています。

監査

PL 監査

PL 監査は、CSR 担当役員を責任者とする監査団による、PL (製造物責任)・製品安全を対象とした監査です。ゼオンの事業部門の開発、製造、使用、最終消費、廃棄の全過程にわたる、製商品の PL 活動に対して実施しています。

品質監査

品質監査は、品質保証部長を責任者とする監査団による、品質改善活動の実施状況確認を中心とした監査です。ゼオンの事業部門および工場、研究所、関連会社に対して実施しています。

内部品質監査

ISO9001:2015 に基づき、ゼオンの品質マネジメントシステムが効率的かつ効果的に運用されているかを評価し、その継続的な改善につなげることを目的とした監査です。ISO9001 に基づく監査ではありますが、ゼオンの社規を遵守すれば ISO9001 要求事項を満足できる仕組みの下、顧客満足と全体最適を意識して取り組んでいます。できる限り他部門の監査員が監査チームを組み、全社を対象に実施しています。

安全情報の発信

ゼオンが取り扱う化学品の安全情報の発信に関しては「化学品の安全情報 (→ P33)」に掲載しています。